

# 研究実施のお知らせ

2025 年 4 月 5 日 ver.1.0

## 研究課題名

### 痙縮に対するリハビリテーション治療の効果に関する後方視的研究

## 研究の対象となる方

2002 年 4 月から 2025 年 3 月の間に島根大学医学部附属病院で痙縮に対するリハビリテーション治療を受けられた方

## 研究の目的・意義

脳卒中や脊髄損傷の患者さんでは痙縮（けいしゅく）を生じる場合があります、脳卒中片麻痺の場合、約 1 / 3 の患者さんで発症後 3 週間から 3 か月位の時期に痙縮が出現します<sup>1)</sup>。痙縮とは筋緊張が異常に亢進した状態で、日常生活の動作や活動を制限し、さらには介護負担を増加させます。そのため痙縮に対するリハビリテーション治療は患者の生活の質の維持に重要です。

本研究の目的は、本院リハビリテーション科で痙縮治療を行った患者さんの疾患内訳、病態と治療効果を明らかにすることです。

本研究の意義は、本研究から得られた痙縮の治療に関する知識を新たな患者さんに応用して、痙縮の治療効果を予測することです。

## 研究の方法

2002 年 4 月から 2025 年 3 月までの間に痙縮のために本院リハビリテーション科に紹介された患者さんの診療録から得られる情報を用いて研究を行います。既存の情報のみを用いるため、新たなご負担はおかけしません。収集する情報には、疾患名、年齢、性別、診療録に記載されている身体所見、検査所見、リハビリテーション科で行ったブロック療法の種類、理学療法および作業療法の内容が含まれます。

個人が直接特定できないようにするために、診療録情報から氏名、患者 ID 等を削除し、研究責任者は収集した情報を島根大学医学部リハビリテーション部内の施錠できる部屋に保管します。

## 研究の期間

2025 年 5 月 29 日～2028 年 3 月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部リハビリテーション医学講座 馬庭壯吉

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 12 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部リハビリテーション医学講座／附属病院リハビリテーション科  
馬庭壯吉

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-88-3047 FAX 0853-88-3076